



10交点メッシュデザインを採用するマイスターM1。ディスクはスタンダードに加え、ディープリム仕様、ビッグキャリバー対応の3タイプが用意される。



ディスクタイプによってセンターハートの深さが異なる。センターキャップはオプションアイテムとなるが、レス仕様でよりレーシーな雰囲気を演出するのも良い。



標準設定に加えて、ディスクカラーは全12色のセミオーダーから選択できる。さらに、10パターンのリムアレンジ、ピラスボルトやエアバルブのオプションを駆使すれば、オリジナリティの徹底追求が可能だ。



ワイドを魅せるネオクラ車の その世界観の構築を 完璧に満たす

ワイド&ローを極めたい…と、愛機のカスタムを妄想する時、「どのワイドフェンダーやワイドボディキットを選ぶのか?」という悩みと同時に、「どのワイドホイールを履くか?」という問題が発生することになる。キャラクターが明確化されているボディキットよりも、むしろホイール選択こそ愛機の方角性を決定付ける重要なファクターだろう。

ネオクラシックのスポーツカーをベースとするなら、ホイールもその年代とマッチングして違和感のないモデルを選びたい。そして、サイズはもちろん、リム幅やインセットに妥協はしたくない。

この時点で、すでに選択肢はワークのマイスターシリーズに絞られている…と言って過言ではない。16インチから19インチまで揃える上に、なんと最大16Jというワイドリムを設定する3ピース構造だけに、ワイド化した愛機に完璧なフィッティングを実現できるからだ。

中でも、メッシュのマイスターM1なら、ワイドの迫力とクラシカルな雰囲気を両立することが可能。装着車両を選ばないメッシュパターンとはいえ、カスタムオーダープランを駆使すれば多彩な面持へと変化させられる。

ここで紹介している装着車両は、Z33でボルシェルクを構築しているA.BASEの935Zだが、マイスターM1の18&19インチは『5H-130』にも対応。極太タイヤを履くオバフェン仕様のリアルボルシェの足元にも、これ以上ないマッチングを披露してくれるわけだ。

登場から20年以上を経ても尚、最強の座を譲らない3ピースホイール。マイスターM1を履きこなせば、君の愛機も最強のワイド&ローを見せ付ける1台となるだろう。



F:10J×18-40 R:10.5J×19-64
マットカーボンディスク、ブラックアルミリム、ブラックピラスボルト、ブラックエアバルブ

THE RECOMMEND WHEEL

WORK MEISTER M1 3PIECE

【マイスター・エムワン・スリーピース】

ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

SIZE/PRICE

16inch 5.0J~11.0J / ¥60,500~¥73,700

17inch 7.0J~13.0J / ¥78,100~¥91,300

18inch 8.0J~16.0J / ¥95,700~¥113,300

19inch 8.0J~16.0J / ¥107,800~¥125,400

DISC COLOR: シルバー、ブラック、マットカーボン、チタンゴールド

